

春江が育て、春江で伸びる春小っ子

坂井市立 春江小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	2回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	3回 (のべ) 3日

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	61人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	507人
登下校支援ボランティア	14600人
その他 ()	

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

具体的活動内容

春江町に住んでいながら自分の町のことを案外知らない3年生児童に、春江のことを知ってもらおうという趣旨で、春江町以外ではほとんど作られていない伝統野菜「白茎ごぼう」に関心を持ち、その良さとおいしさを知ることがをねらいとして、総合的な学習で「白茎ごぼうの栽培と調理」に取り組んだ。この学習では、春江町農村女性活性化委員の方にお世話になった。

「白茎ごぼうの学習会」(7月)

白茎ごぼうは市場には出回っていないので、ほとんどの児童にとって、はじめて聞く野菜であった。どんな野菜なのか、いつから作られているのか、どんな種なのか、栽培するときどんな注意が必要なのか、委員の方を指導者として招き、学習会を行った。

「畑作りと種まき」(9月)

草を取り、スコップで土おこしをした。畝作りは、委員やJAの方に手伝いをしてもらった。その後、1粒1粒ていねいに種まきをした。

「収穫」(12月)

アブラムシがついたり、うどんこ病にかかったり、11月末に降った霰で葉に穴が開いたり、なかなか思い通りに育たなかったものの、12月6日に無事収穫することができた。

「白茎ごぼうパスタの調理」(12月)

収穫したばかりの白茎ごぼうで、早速調理を行った。茎と根を使って「白茎ごぼうパスタ」を作った。委員の方に、洗い方、切り方、調理の仕方を一つ一つ指導を受けながら、みんなで協力して作業を進めていった。はじめて食べる白茎ごぼうは、少し苦みがあったものの歯ごたえがよく、おいしく食べた。また、塩漬け加工した白茎ごぼうで炊き込みご飯を作った。こちらは味がしっかりとしみこんでいて、「おいしい。」と好評で、「おうちの人にも食べさせてあげたい。」と言って、少ししか食べずに持って帰った児童もいた。



成果と課題

地域・学校協議会の方に、上記の活動やオープンスクールや指導主事訪問日などにも来てもらい、地域の人から見た授業の様子など聞くことができ、地域の望む学校教育への期待を知ることができた。また、保護者や地域の人々に学校のことを理解してもらい、協力的な雰囲気や育ち、学校の目指す教育活動がやりやすくなった。

地域・学校協議会、公民館、見守り隊、民生委員、絵本だいすきかいなどの地域の団体や組織同志の連携が、まだ不十分であったように思う。PTAの協力も得ながら、学校がそのパイプ役になって、連携が円滑にできるように、今後の活動を検討していかなければならない。

